



本年度のサポートセンターの研修は新型コロナウイルス感染症対策の為、オンラインで実施しています。オンラインは、感染対策だけでなく、会場までの行き帰りの時間を有効に使えることや、事業所内で複数の職員が研修参加できたり、在宅でも参加が可能などの利点があります。今後もオンライン研修を実施してまいります。状況が落ち着いたときには、対面での研修が実施できることを願っています。

第14回在宅医療講座

こども・若者ケアラー支援について

座長 戸根内科・神経内科医院 院長 戸根幸太郎氏

講師：神戸市福祉局政策課こども・若者ケアラー相談・支援窓口担当課長 岡本和久氏

日時：令和3年8月5日(木)16：00～17：00

参加者：41名

こども・若者ケアラーについて、そして神戸市の取組みについて教えて頂きました。ヤングケアラーとは「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている児童」と言われていますが、神戸市では、18歳未満の児童だけでなく、20代の方も含めて施策の対象としている事から、「子ども・若者ケアラー」としています。

こども・若者ケアラーを支える為には、気づく事、寄り添う事、子供を「介護力」とすることなく、居宅サービス等の利用の検討、関係機関との連携、相談窓口や支援団体によるピアサポートの活用が必要となること。当事者は自覚がないことがほとんどであり、相談は関係者からの相談が多いこと等を教えて頂きました。関係機関と連携を取りながら家族全体の支援が必要になることがわかりました。

研修後参加者アンケートからは、「私たちが気づく事、そして支援者たちと情報共有できるようになっていきたいと感じました」とのご意見を頂きました。

こども・若者ケアラー相談・支援 窓口

電話、Eメール、来所により相談をお受けします。なお、来所による相談は電話やEメールでご予約いただくとスムーズです。

開所時間：平日9時～17時（土日祝、年末年始を除く）

場所：神戸市立総合福祉センター1階（神戸市中央区橘通3丁目4番1号）

連絡先：電話 078-361-7600 eメール carer_shien@office.city.kobe.lg.jp FAX 078-361-2573

第15回在宅医療講座

複数の疾患がある利用者と家族関係の悪化により支援が困難となった事例 ～医療機関・関係機関との連携・支援を考える～

座長 戸根内科・神経内科医院 院長 戸根幸太郎氏

事例提供者：すいーとぴー須磨 介護支援専門員 山内裕子氏

日時：令和3年9月16日(木)16：00～17：00

参加者39名

複数の疾患を抱える利用者とひきこもりのご家族がいる事例を、あんしんすこやかセンターの看護師、ひきこもり支援室の担当者にもご参加いただき、オンライン参加者とともに意見交換を実施しながら検討しました。

複数の医院を定期受診しているため、内服薬が多く、薬剤師より薬局でできる支援について、また薬局にも相談してほしいとのご意見を頂きました。また、ひきこもりの家族がいる状況において、ひきこもり支援室より、家族に支援室の情報提供をいただく事でまずは家族支援に繋げながら、ご本人への見守り・支援体制を構築していく支援内容を教えて頂きました。様々な問題を抱えた困難事例においては、多職種間で意見交換を実施することで、問題の本質が見えてくることを実感しました。

研修後参加者アンケートからは、「ひきこもり支援室の関り、家族相談の対応をしてくれてよかった」「8050問題の支援が必要になった時、今回学んだことを参考にしたい」とのご意見を頂きました。

神戸ひきこもり支援室 相談窓口

電話、Eメール、来所、訪問により相談をお受けします。なお、来所・訪問による相談は電話での予約をお願いします。

開所時間：月曜～金曜9時～17時（祝日、年末年始を除く）

場所：神戸市総合福祉センター1階（神戸市中央区橘通3丁目4番1号）

連絡先 電話：#8900又は078-361-3521 eメール：hikikomori_shien@office.city.kobe.lg.jp FAX：078-361-2573

令和3年度多職種交流会

死を考えることは、生を考えること

座長 林山クリニック 院長 梁 勝則氏

講師 小池 陽人氏（須磨寺副住職）

日時：令和3年11月13日（土）14:30～16:00 参加者数：52名

テーマである「死を考えることは、生を考えること」について、さまざまな知見からのご講演を頂きました。座長の梁先生から、一人一人の今後の学びに影響を与える大変意義のある講演をいただいたと言われた通り、研修後参加者アンケートからは、「対人援助の難しい場面で助けになる貴重な学びでした」

「迷惑をかけることに遠慮せず感謝し合える関係性を本人家族ともちたい」

「どういう最期かという事よりも、介護してきた過程が死に目である事。その言葉に救われた」

「ネガティブケイパビリティの考え等、初めて知ることも多く、今後の働き方の参考にしたい」

「自己決定を重要視していたが、相手に恐怖をあたえてしまっているということは目から鱗でした」等、多数のご意見を頂きました。

講演後、初めての試みであったブレイクアウトルームでは、オンライン上で4～5名のグループに分かれて、講演の感想を話し合いました。研修の学び、死生観について等、多職種で話し合うことができました。



第6回介護に役立つ医療講座

腎不全

①「慢性腎臓病と透析療法」②「透析利用者さんの療養生活について」

座長 戸根内科・神経内科医院 院長 戸根幸太郎氏

講師：①神戸市立医療センター西市民病院 腎臓内科 隈元宣行氏

②公益財団法人甲南会甲南医療センター 透析看護認定看護師 岡本雅代氏

日時：令和3年12月16日(木)18:00～20:00

参加者数：23名



隈元先生より、腎臓に関する基礎知識、慢性腎臓病、透析について、又、事前質問で頂いていた、かゆみや栄養指導についても大変わかりやすくご講演頂きました。

岡本看護師より、透析利用者の療養生活について、また、透析利用者の心理、ストレスについて、丁寧に教えて頂きました。両講師から、写真を用いて透析の様子やシャントのご説明を頂くことで、必要な情報をイメージすることができました。

研修後参加者アンケートからは、「腎臓病や透析患者の在宅生活を支援する際に活用していける内容だった」「医療現場から離れている自分のスキルアップに繋がった」

「シャント感染や瘤の写真を掲載して頂けたのが有り難かった」とのご意見を頂きました。

本年度の研修予定

令和4年2月か3月 須磨区多職種連携検討会（事例検討会）

令和4年3月 ケアカフェ テーマ未定

※案内ができましたら各事業所にご案内いたします。

また、神戸市医療介護サポートセンターのホームページでもご案内いたします。

ご参加下さい



編集後記

昨年はコロナ対応で大変苦しい状況であったと存じますが、医療介護サポートセンター事業に様々な形でご協力いただきありがとうございました。今年もサポートセンターの事業がより良いものとなるよう、ご意見をサポートセンターまでお寄せ頂きますようお願い致します。

今年もどうぞよろしくお願い致します。